

2022年度 事業報告 (抜粋)

まちづくり事業

- 新型コロナウイルス禍でまちづくり事業の多くは停滞状態が続いています。
- まちづくり計画:市総合防災課に提出した地区防災計画が、2022年5月に市防災会議で承認され、災害対策は自治会エリアごとに防災訓練などを実施するという体制になりました。さらに第3次改訂版を2022年11月に市総合防災課に提出しました。
- 中山台地区教育環境適正化検討委員会:4月に「中山台小学校」が開校しました。
- 長寿祭り:新型コロナウイルス禍で長寿祭りは中止しました。

コミセン管理委員会

- 当委員会は中山台コミュニティセンター指定管理事業と図書館中山台分室の委託事業を統括しています。
- 中山台コミュニティセンター指定管理事業:宝塚市との指定管理に係る協定書に基づき、管理運営を実施しました。令和4年度施設管理運営事業評価の総合評価は引続き「A」でした。宝塚市の定例監査の結果、指摘事項はありませんでした。コミュニティセンター裏山の急傾斜地崩壊防止工事が着工され、館内ではエレベーターなど経年劣化による施設の補修が行われました。
- 市立図書館中山台分室窓口業務等委託事業:宝塚市との業務委託契約により、図書館中山台分室を運営しました。「おはなし会」はコロナ感染防止の観点から引続きお休みとしましたが、夏休み課題本コーナー等、各種のコーナーは実施しました。図書館中山台分室スタッフ5名体制が整い、従来通りの業務が可能となりました。
- 県の最低賃金引上げによりコミュニティセンターと図書館中山台分室のスタッフの時給を改定しました。

常任評議会

- 毎月第2日曜日、コミュニティ会長、センター長、運営委員長からの報告を受け、中山台コミュニティ全般の出来事、課題などの把握に努め、各種の議案を審議しました。また各自治会の報告を受け、地域全般の状況把握、課題解決にも努めました。
- 「中山台コミュニティまちづくり計画」は、コロナ禍で大きな進展はありませんでした。
- 「中山台コミュニティ地区防災計画」第3次改定案が宝塚市防災会議で承認され、各自治会、管理組合、自主防災会などが中心となって防災に取り組む体制になり、地域の防災対策は「まちづくり計画」と整合性がとれる内容になりました。
- 2023年度評議委員総会を開催するにあたり、会則第6条「評議委員会は、中山台コミュニティの議決機関であって、全住民の代表として一定の割合で選出された委員によって構成される。」の下線部を「当該地域に居住する住民の代表」に改定しました。

運営委員会

- 2022年度事業報告・決算・監査報告、2023年度事業系計画案・予算案・役員等候補者を常任評議会へ提案しました。
- 総務活動部:常任評議会や運営委員会の準備にあたりました。議事録は置き場所をコミュニティ室に変更しました。
- 広報活動部:広報誌は年間7回(毎号5,000部)発行し、内容はコミュニティにかかわる情報と、各活動部からの情報を掲載しました。各自治会の広報担当者に必要部数の配布を依頼しました。
- 福祉活動部:地域の住民の皆様が安心して暮らせるまちづくりを目指し、またいつまでも健康でいられるよう5つのサロンが一同に集まったサロン大会などの交流会を実施しました。
- 子ども活動部:コロナ禍の中、6のグループがそれぞれ独自に、また連携し創作活動、お話し会、クリスマス会、ひなまつりなどの行事を取り入れ、子どもたちや親子のふれあいを楽しみました。
- 緑化環境対策活動部:今年度はコロナの状況から「行政と共に」は中止しました。私たちが中山台ニュータウンの生活環境の維持・改善に取り組んでいる象徴として、まちの玄関口3箇所に「ヒペリカムの丘」、まちの合流点に「香りの園」、まちの中央に位置する「コミュニティの森」と名付け整備しています。
- 地域文化活動部:「文化講演会とミニコンサート」「第九を歌う会な夏に歌う」などコミュニティへの文化的行事や、行事を通じて交流場所を提供し、若い音楽家への後援を目的に活動しました。
- 健康推進活動部:例年4回実施している健康づくり講座については、宝塚市健康センター、介護事業所等と打合せの上、座学と実技を約2時間実施しました。定例活動として転倒防止とリラックス効果の大きい太極拳講座(毎週火曜日)を実施しました。今年度はスポーツレクリエーション活動部との統合について検討しました。
- 生涯学習活動部:3年ぶりに活動を再開し、『歴史講座』、『やさしい論語』、『日本の古典文学』、『花を描く』など計8回を実施しました。■災害対策活動部:「中山ちどり」に保管の防災資機材はコミュニティの所有・管理に変更しました。宝塚市の「ぼうさい出前講座/気象情報・天気予報にもっと詳しくなろう」を開催しました。
- スポーツレクリエーション活動部:昨年3月に解散した「スポーツクラブ21中山桜台」の残余資金を財源として高齢者の健康増進などを旨とする「スポーツレクリエーション活動部」が立ち上がりました。

* 定例活動:健康アップ体操(高齢者対象) * 不定期活動:チャレンジスポーツシリーズ(幼児～小学生ファミリー対象)

2023年度事業計画(抜粋)

基本方針

- (1)宝塚市と住民との協働でこの「まち」がより住みよい地域になる活動を基本とします。
- (2)「中山台コミュニティ地域まちづくり計画」の実行に取り組みます。
- (3)宝塚市立中山台コミュニティセンターの指定管理業務と図書館分室の受託業務については、運営の効率化と住民利用の利便性を高めていきます。

まちづくり事業

- 中山台コミュニティ地区まちづくり計画の実行:コロナ禍で大きく変化した情勢を見直し、まちづくり事業として掲げた基本目標実現に取り組みます。
- 中山台地区教育環境適正化検討委員会:中山台小学校が開校しました。今後、中山台小学校と中山五月台中学校の小中一貫校開設についても検討が始まります。
- 長寿まつり:諸般の事情により中山台コミュニティ事業としての長寿まつりは中止します。

コミセン管理委員会

- 中山台コミュニティセンター指定管理事業:安全で楽しく居心地の良い拠点となるように努めます。
- 図書館中山台分室窓口業務等委託事業:研修会への参加や自己研鑽の積み重ねによりスキルを高め、皆さまに満足いただけるように努めます。
- 中山台コミュニティセンターの工事は安全を一番に置き、無事完了するように努めます。

常任評議会

- コロナ禍で停滞した「まちづくり計画」の基本目標達成を目指します。
- 「宝塚市中山台コミュニティ地区防災計画」は市に提出している第3次改訂版に基づき、防災対応を強め自治会を中心にした防災組織との連携を強化し、協力体制を目指します。
- 老朽化しているインフラ、少子高齢化、防災・防犯などの諸課題を見直しその解決に力を注ぎます。

運営委員会

- 楽しく民民主的で合理的な運営を目指します。
- 「まちづくり計画」に沿って具体的な取り組みを進めます。
- 各部会の活動は相互の連携を深めながら地域住民に広く参加を呼び掛けます。
- 各活動部 ■総務活動部:新型コロナウイルス感染予防対策をしながらコミュニティの総務事業を実施します。
- 広報活動部:広報誌は年7回発行し、中山台コミュニティの方針を反映するとともに、各活動部の事業を積極的にとりあげ、住民にとって必要な情報提供につとめます。広報誌の各号を宝塚市のポータルサイト「まちづくり協議会」の中山台コミュニティのブログに順次掲載します。
- 福祉活動部:各グループの活動および研修会、夕食をたのしみ会、地域交流会等を引き続き実施します。地域の福祉施設(中山ちどり、アクティブライフ中山倶楽部)との交流を深めます。
- 子ども活動部:子どもたちが元気にたくましく育つことを願い活動します。6グループの活動をとおして、行政、学校、保護者、子ども館などと連携し、地域全体での子育てを目指します。「青色防犯パトロール」にて、子どもたちの見守り活動を進めます。
- 緑化環境対策活動部:「中山台コミュニティ緑化環境対策今後の方針」を基本にして地域内の緑化活動事業に取り組みます。「コミュニティの森」、「香りの園」、「ヒペリカムの丘」は緑化活動のシンボルエリアとして継続して整備します。枯れ松対策は本年も行政と連携して対処し、ヤシャブシ対策は必要に応じて計画します。市役所と連携し「行政と共に」の作業を今年度も実施します。
- 地域文化活動部:事業として「文化講演会とミニコンサート」「第九を歌う会 夏にうたう」「第九を歌う会 コンサート(ベガホール)」を計画しています。コミュニティ主催で当部主管の「アートフェスタ」については見直しを検討します。
- 健康スポーツ活動部:健康向上に関する活動を開催し地域の健康づくりを目指します。幼児から大人まで、誰もが参加できるレクリエーションスポーツを通じて、気軽にスポーツに取り組める機会を提供するとともに、高齢者のフレイル予防・体力維持のための活動を定期的に行います。
- 生涯学習活動部: * 「論語講座」講師:山泰幸氏(関西学院大学教授)
* 「歴史講座」講師:直宮憲一氏(歴史研究家) * 「季節の花を描く講座」講師:松村基子氏 * 「日本の古典文学」講師:丸山安久里氏(元・高齢者大学講師)
- 災害対策活動部:大規模災害が発生しても、地域が一体となって防災一週間は自分たちの力で生き延びることを目標に策定された「中山台コミュニティ地区防災計画」に沿って、備蓄推進、家具転倒防止の啓発などに努めていきます。兵庫県広域防災センターなどが実施している防災リーダー講座への参加を呼びかけていきます。